



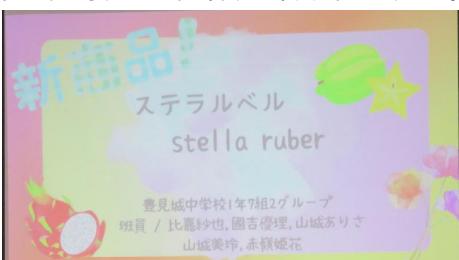
○豊見城中学校学校教育目標
 「自律、協働、創造し 未来を築く生徒」

【1/15 PBL問題解決型学習発表会】

本校は今年度、総合的な学習の時間を活用してPBL問題解決型学習に取り組んできました。PBL問題解決型学習は「自ら課題を見つけ、自ら解決していく」力を身につけることがねらいの学習方法です。

各学年が取り組んだ具体的な内容は以下の通りです。1年生は、オリオンビールさんからいただいたミッション「①豊見市の特産品を活用して、豊見市の魅力を活かした新たなドリンクを開発する。」「②開発して得た利益を使って、社会や地域のためになることを考える。」に取り組みました。2年生は、(株)RokuYouさんやうんてん洋菓子店さんから課題や助言をいただき「修学旅行先でヒントを見ながら、豊見市の新たなお土産を考えることに取り組みました。3年生は、様々な職種の大人と話をしたり、「コレージュ作成による自己表現」などを通じて「生きること・働くことを考える。」ことに取り組みました。

2、3校時は、各学級にて各班ごとに「考えたこと」を発表しました。発表後は、それぞれ事業所の方から助言をいただき学びを深めることができました。4校時は、全1、2年生が体育館に集まり、1年生から3年生までの各代表班の発表(提言)を聞きました。各代表班からは、「豊見城市と沖縄県の特産品であるマンゴー、パイナップル、シークワーサーを活用したジュースを開発したい。名前は南国をイメージするトロピカルと果汁100%を意味するピュアを合わせてトロピピュア。環境に優しいリサイクルペットボトルを活用し、収益は、学校や道路、福祉のために役立てたい。(1年1組2班 仲村和馬、下地奏碧、照喜名奏斗、宜野座嗣丈)」「ドラゴンフルーツやスターフルーツ、サトウキビを原料にして美容に良い成分も加味し、20~30代女性をターゲットした飲み物を開発したい。売り上げの一部はサンゴの白化予防活動に取り組んでいる企業に寄付したい。(1年7組2班 比嘉紗也、國吉優理、山城ありさ、山城美玲、赤嶺姫花)」「豊見市の特産品であるマンゴーを原料としたマンゴーふりかけをお土産として開発したい。ドライマンゴーとごまなどを混ぜ合わせ長持ちする商品にしたい。修学旅行で訪れた清水寺の参道で見かけたお土産店で販売されている京抹茶のふりかけを参考にした。(2年6組1班 桃原杏恋、安座間美心、長嶺芽生)」



「マンゴーを活用したマンゴーの香りがするハンドクリームを開発したい。ハンドクリームを使う度にマンゴーの匂いで豊見城を思い出して欲しい。」

②お土産を作りたい理由

ハンドクリームは毎日使うもの。マンゴーの香りを嗅いだとき、豊見城に来たときの楽しい思い出を振り返ってほしい



名前はうゆむん(思い出)にしたい。(2年6組6班 山田千咲、町田恵麻、山田蒼依)」「コレージュ作りや職業人講話を学ぶ中で「なりたい自分」を知った。新しいことに挑戦する一歩が大切。(3年6組 青木志凧、知念和明)と提言がありました。今年度取り組んだPBL問題解決型学習においては、(株)RokuYouさんによる1年間に渡る伴走(企画・助言・その他)があり、生徒の自律、協働、創造する力の向上を支えていただきました。ありがとうございました。また、(株)オリオンビール、うんてん洋菓子店、島の装いSTORE、(合)トミューアソシエイツ、市商工観光課、市教育委員会の皆様には、忙しい中、数回に渡り来校し生徒へ助言・激励していただきありがとうございました。変化が激しく急で、不安定・不確実・複雑なこれからの社会を、生徒たちが夢の実現に向かってたくましく生きていくために必要とされる資質や能力を、今後も、保護者や地域と一緒に育てていければと願っています。保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご理解・ご協力を宜しくお願い致します。



【豊見城中学校区

はたちの集い実行委員会より金一封】

今年成人を迎えた豊見城中学校区はたちの集い実行委員会(中島ほのか実行委員長)より「学校教育に役立て下さい。」と金一封をいただきました。5年前に本校を卒業した新成人の皆さんのが想いに感謝です。生徒のために大切に使わせていただきます。有り難うございました。(式典の後、本校生徒によるお祝いのエイサー演舞もありました。)



【1/27~28

1、2年生第2回実力テスト】

1月27日(火)から29日(木)の3日間、1、2年生は第2回実力テストに取り組みました。最近は本を片手に登校するなど隙間時間を使って勉強する生徒も増えてきました。頼もしい生徒たちです。(車には気をつけましょう。)

